



自然災害対策・高齢者支援・園児の安全対策・北陸新幹線安中榛名駅周辺整備について

雪害対策について

問 地域防災計画の雪害予防計画では、雪に強い道路整備がうたわれている。雪害体制計画は。

答 平時から除雪資機材の整備、排雪場所の確保、融雪剤の備蓄、除雪要員・オペレーターの確保など除雪体制を整備しています。

問 降雪時に適切かつ迅速に対応できるように初動体制の整備は。

答 降雪が予想される場合は、気象情報等を注視し、市民への注意喚起、除雪体制や職員参集体制の確認、自主避難所開設の検討等を行います。

問 指定避難所の災害対応設備の現状と今後の計画は。

答 可搬型LPガス発電機は、46カ所ある指定避難所の約半分の配備が済んでおり、残りの計画を加速させたいと考えています。

問 指定避難所開設責任者の避難所運営訓練は。

答 開設責任者を対象とした説明

会は、定期的に開催し、開設運営業務に関する知識・理解を深めています。

家庭ごみ出し支援について

問 ごみ出しが困難な高齢者等が増えることが予想される。ごみ出し支援制度の考えは。

答 令和7年度までに、ごみ出しサポート制度が実施できるように必要な制度設計を構築します。

その他、通園バス対策について、新幹線を活かしたまちづくりについて質問しました。



災害対応設備のLPガス発電機と投光器



空き家対策・廃校施設の有効活用について

廃校施設の利用促進方策について

問 区長会や地域住民の意見・要望を聞く取り組みは。

答 教育委員会として、現在、利活用について検討しています。

今後は、教育財産から行政財産、または、普通財産へ移行することで地域の実情やニーズを含め、有効な利活用が図られるものと考えています。

問 近くに点在する市有施設を廃校舎に集約することや、体育館や校庭を市外の文化・スポーツ団体等にも開放する考えは。

答 市有施設を廃校舎に集約することについては、関係部署等との協議・検討が必要となります。

体育館については、社会体育施設に転用することで、市内外の皆様の健康増進やスポーツ、レクリエーションの振興が期待されます。

問 昨年11月、新たに資産活用課が設置されたことから、利活用

を全庁的に検討する考えは。

答 今年度、未利用となっている廃校舎を含めた市有施設数力所について、市の附属機関である行政改革審議会に諮問し、協議していただく予定です。

廃校施設については、地域住民の意見をお聞きし、地域ニーズに配慮しながら賑わいや新たな交流人口の創出につながるよう利活用を検討します。

その他、空き家の現状や対策の課題について質問しました。



市内の廃校舎 (旧九十九小学校)